

# 藤本照信展



諏訪の記憶と  
フジモリ建築

2010年7月24日「土」—8月29日「日」

開館時間 10時—18時 火曜日休館 ※7月24日は10時から開展式を開催し、終了後に開場

茅野市美術館

観覧料 一般500円(300円) 高校生以下無料

※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料。( )内は20名以上の団体料金。

主催 茅野市美術館 助成 財団法人地域創造、芸術文化振興基金、財団法人アサヒビル芸術文化財団

後援 長野県、長野県教育委員会、茅野市、茅野市教育委員会、岡谷市教育委員会、諏訪町教育委員会、

富士見町教育委員会、原村教育委員会、諏訪教育会(社)、建築業協会(社)、日本建築学会、

(社)日本建築士会連合会、信濃毎日新聞社、長野日報社、市民新聞グループ、エルシーブイ株式会社、月刊ぶらざ、

JR東日本長野支社、諏訪地方観光連盟、信州諏訪農業協同組合



芸術文化振興基金



宝くじは  
豊かさ築く  
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。



# 藤森照信展

## 諏訪の記憶とフジモリ建築

2010年に開館30周年を迎える茅野市美術館では、当市出身の藤森照信の展覧会を開催します。藤森照信は1946年生まれ。高校卒業まで茅野市で過ごし、東北大学、東京大学大学院に進学。その後、近代建築史・都市史研究の第一人者として多くの業績を残し、1998年には日本建築学会賞(論文)を受賞しています。2010年3月まで東京大学生産技術研究所教授を務め、同年4月より工学院大学建築学科教授を務めています。

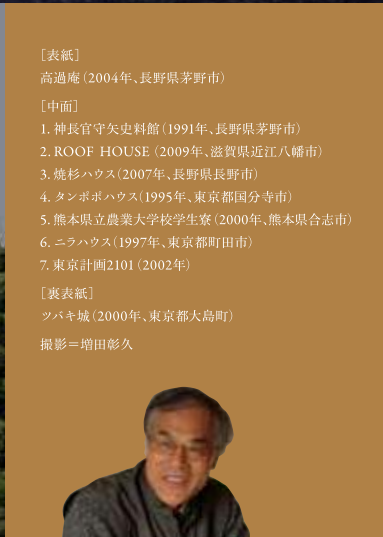
一方、藤森照信は、茅野市で神長官守矢史料館(1991年)を設計し建築家としてデビュー。自然素材や植物を用いて、これまでに20作品以上の独創的な建築を創り続けています。また、藤森、友人、施主からなる「縄文建築団」が建築施工に参加し手作りすることも特徴となっています。そして《ニラハウス》で1997年に第29回日本芸術大賞、《熊本県立農業大学校学生寮》で2001年に日本建築学会賞(作品)を受賞。2006年の第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展では日本館のコミッションナー(兼出品者)に就任、自身の建築と、路上から観察できる森羅万象を対象とし、本来の意図とは異なる無用の「美」を採集する路上観察を紹介、「フジモリ」の名を世界に知らしめました。

本展では、建築写真、建築・プロジェクト模型、スケッチ、屋根・壁・左官の材料見本、家具に加え、藤森照信自身が撮影した茅野市での幼少期に影響を受けた素材や風景の写真、ワークショップの一般参加者と地元の職人が地域の素材を用いて制作した藤森照信設計の一坪の茶室を展示します。

また、路上観察学会メンバー(赤瀬川原平、藤森照信、南伸坊、林丈二、松田哲夫)が茅野で採集した物件(写真)の展示や品評会、路上観察のレクチャー、一般公募による「諏訪の路上観察」物件の選定・品評をおこないます。

さらに会期中、フロッタージュの手法を用いて「都市の記憶」や「歴史の痕跡」を擦りとり、作品制作を行う美術家・岡部昌生や、藤森照信と同じ諏訪地域の下諏訪町で育った現代を代表する建築家・伊東豊雄を招き、トークセッションをおこないます。

展覧会に加え、これらの関連企画とともに、藤森照信の中にある諏訪の記憶、人々の中にある地域の記憶、そして地域の中に潜む記憶をみつけながら、藤森照信とその建築の全貌に迫ります。



【表紙】  
高過庵(2004年、長野県茅野市)

- 【中面】
1. 神長官守矢史料館(1991年、長野県茅野市)
  2. ROOF HOUSE(2009年、滋賀県近江八幡市)
  3. 焼杉ハウス(2007年、長野県長野市)
  4. タンポポハウス(1995年、東京都国分寺市)
  5. 熊本県立農業大学校学生寮(2000年、熊本県合志市)
  6. ニラハウス(1997年、東京都町田市)
  7. 東京計画2101(2002年)

【裏表紙】  
ツバキ城(2000年、東京都大島町)  
撮影=増田彰久

## 関連企画

### 路上観察学入門講座

講師=藤森照信、林丈二(エッセイスト)

6月26日[土]14:00開始(13:30開場)|茅野市民館コンサートホール|入場無料(先着300人)※1  
路上から観察できる森羅万象を対象とし、その中のズレたもの、おかしなもの、不思議なものを探します。レクチャーを受けて路上観察にチャレンジしてみませんか?

### 「諏訪の路上観察」物件公募

募集物件=諏訪地域で採集した路上観察の物件(写真)  
応募規定=モノクロ、カラー写真。被写体の肖像権、管理、所有権に問題が生じないもの。お一人10点まで。サイズは2Lサイズ。住所、氏名、年齢、電話番号、撮影場所、撮影年月日、タイトルを紙に書いて写真裏面に貼り付けてください。写真は返却いたしません。写真の著作権は本人に帰属しますが、使用权は当館に帰属します。応募費無料。  
応募締切=7月22日[木]17:00(茅野市民館事務室に提出または郵送(必着))  
※7月24日路上観察学会 物件品評会 in 茅野において、一般から公募した物件(写真)の選定・品評を行います。優秀物件は展覧会の会期中、茅野市民館ロビーにて展示します。



路上観察(茅野の戦後)

### 茶室制作ワークショップ

講師=藤森照信

6月27日[日]、28日[月]、7月4日[日]各9:30~17:00予定|茅野市民館イベントスペース  
定員=一般10名(各日)、親子10組(7月24日13:00~17:00のみ) 参加費=無料(要事前申込み)  
一般参加者と地元の職人が、地域の素材を用いて、藤森照信設計の一坪の茶室を制作。子どもを対象にした7月4日13:00~17:00の回は塗料を茶室に塗ります。完成した茶室は展覧会場にて展示します。

### 路上観察学会 物件品評会 in 茅野

出演=赤瀬川原平(作家、画家)、藤森照信、南伸坊(イラストレーター)、林丈二(エッセイスト)、松田哲夫(編集者)

7月24日[土]14:30開始(13:30開場)|茅野市民館マルチホール|入場無料(先着600人)※1  
諏訪大社上社「御柱祭」山出しが行われていた2010年4月3日、4日に路上観察学会によって採集された茅野の路上観察の物件(写真)品評会。これまでの優良物件や、一般の公募物件の選定・品評も行います。



### 藤森照信が案内する 高過庵&神長官守矢史料館 見学会

案内=藤森照信 集合・解散=茅野市民館

7月25日[日]午前の部(9:30-12:30)、午後の部(13:30-16:30)

定員=各30人(要事前申込み・抽選) 参加費=500円(バス代込み)

応募方法=往復はがきに必要な事項をご記入の上、下記宛先までお送りください。返信はがきにもご住所・お名前をご記入ください。応募者多数の場合は抽選。はがき1枚につきお二人まで。はがき複数枚のお申し込みはご遠慮ください。

必要事項=1.氏名 2.年齢 3.職業 4.住所 5.電話番号 6.同伴者の有無 7.希望時間帯(午前の部、午後の部、どちらでも)

宛先=〒391-0002長野県茅野市塚原一丁目1番1号 茅野市民館「藤森照信 見学会係」

応募締切日=7月10日[土]必着

### 作家によるギャラリートーク

話し手=藤森照信

8月8日[日]、28日[土]各14:00~15:00予定|茅野市民館

参加費=無料(要展覧会チケット)

※参加者多数の場合は、入場制限をさせていただく場合がございます。ギャラリートークの日程に追加がある場合は茅野市民館ホームページでお知らせします。

### 岡部昌生(美術家)×藤森照信トークセッション

#### 「諏訪にふれる—土・記憶」

8月14日[土]18:00開始(17:30開場)|茅野市民館マルチホール

入場無料(先着600人)※1

photo: Nanda Lanfranco



### 伊東豊雄(建築家)×藤森照信トークセッション

#### 「諏訪の記憶、21世紀の建築」

8月22日[日]14:00開始(13:30開場)|茅野市民館マルチホール

入場無料(先着600人)※1



### 「夢の家を描こう」作品募集

募集期間=7月24日[土]~8月29日[日]

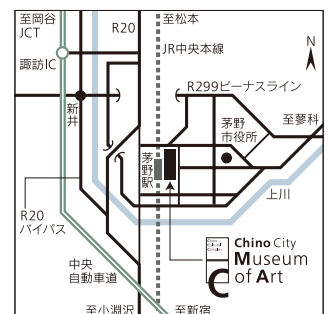
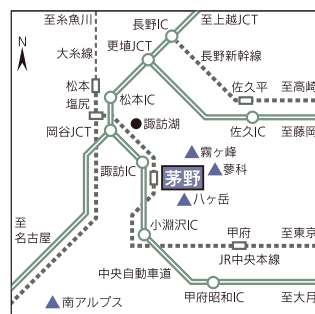
夢の家を描いてみよう。藤森照信展に來場の小学生を対象に用紙を配布します。小学生の描いた夢の家は展覧会の会期中、茅野市民館ロビー・スロープにて展示します。

※1 当日9:00より茅野市民館事務室にて整理券を配布



# 茅野市美術館

〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 茅野市民館内  
 TEL 0266-82-8222 <http://www.chinoshiminkan.jp>



- JR中央本線・茅野駅下車、東口直結
- 中央自動車道・諏訪ICより車で約12分